

新型コロナウイルス感染症

びょうきとワクチン



監修

北里大学 大村智記念研究所 名誉教授

中山 哲夫 先生

新型コロナウイルス感染症は どんな病気？

- のどの痛みや咳、鼻水・鼻づまりに加え、倦怠感や発熱、筋肉痛などの症状が起こることが多い病気です
- インフルエンザに似た症状のため、症状だけでどちらかを見分けることは難しいです
- 重症化すると入院や酸素療法が必要となることもあります



どのように感染するの？ 感染したらどうしたらいいの？

- エアロゾル感染、飛まつ感染、接触感染でうつります

エアロゾル
感染



飛まつ
感染※



接触
感染



※会話やくしゃみなどにより感染者のしぶき
(つばなど)を吸い込んでしまう。

- 新型コロナウイルス感染症の症状が出たら医療機関に連絡し、指示に従って受診しましょう
- 発症前から発症後5～10日は感染させる可能性があります
ほかの人にうつさないためにも、発症した後5日が経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまでは自宅などで安静にしましょう
発症から10日を経過するまではマスクの着用も推奨されています

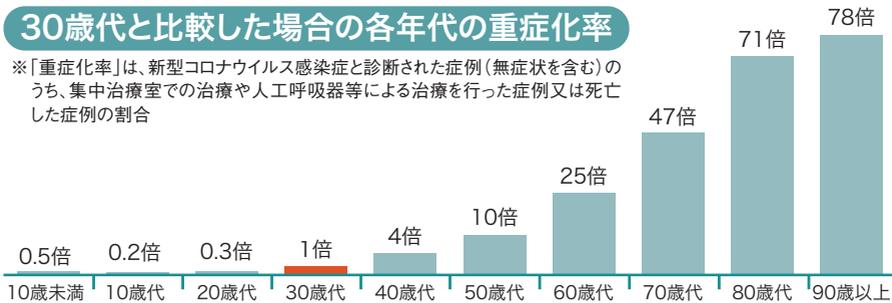
文部科学省：学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知）[2025年1月閲覧]
https://www.mext.go.jp/content/20230427-mxt_ope01-000004520_2.pdfより作成
厚生労働省：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き第10.1版[2025年1月閲覧]
<https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>より作成

重症化のリスクは？

● 高齢者の方は重症化のリスクが高いといわれています

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例又は死亡した症例の割合



厚生労働省：(2023年4月版)新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識[2024年11月15日閲覧]
<https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>より作成

インフルエンザとどちらの方が重症化・死亡リスクが高い？

高齢者の方がインフルエンザにかかると重症化・死亡リスクが高いことは知られていますが、65歳以上において、インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症で入院した患者さんの30日以内の致命率[※]は、新型コロナウイルス感染症の方が1.78倍高いことが海外で報告されています¹⁾

※その病気が原因で死亡した人の割合

1) Xie Y, et al.: JAMA 2023; 329(19): 1697-1699.

● 高齢者の方以外にも基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方も重症化に注意が必要です



厚生労働省：(2023年4月版)新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識[2024年11月15日閲覧]
<https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf>より作成

後遺症について

- ほとんどの方は時間経過とともに症状が改善しますが、一部の方で症状が長引くこと(罹患後症状、いわゆる後遺症)があります
- 70歳以上の方では10人に1~2人が日常生活に支障をきたす程度の症状が3ヵ月以上持続するという報告があります²⁾

2) Sugiyama A, et al.: Sci Rep 2024; 14(1): 3884.

後遺症の例



WHO(世界保健機関)は罹患後症状について「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2ヵ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。通常は発病から3ヵ月経った時点にもみられる」と定義しています

予防するには？

- 手洗い・手指消毒、換気、マスク着用※が有効です

手洗い



手指消毒



換気



マスク
着用



※重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問するとき、混雑した電車、バスに乗車するとき。

- 新型コロナワクチンの接種も有効です

予防接種は自分を守る、大切な人を守る、 社会を守るために重要です

予防接種は、感染予防、発病予防、重症化予防、
感染症のまん延予防等のため

*** 各種の病原体に対して免疫を持たない人に免疫をつける**

*** 免疫の増強効果(ブースター効果)を得る**

ことを目的としています

新型コロナウイルス感染症の大流行において
新型コロナワクチンは臨床試験において発症・重症化予防効果を示しました。世界では2020年12月からの1年間に新型コロナウイルス感染症による死亡を1,440万人防いだと推計されています³⁾

3) Watson OJ, et al.: Lancet Infect Dis 2022; 22(9): 1293-1302.

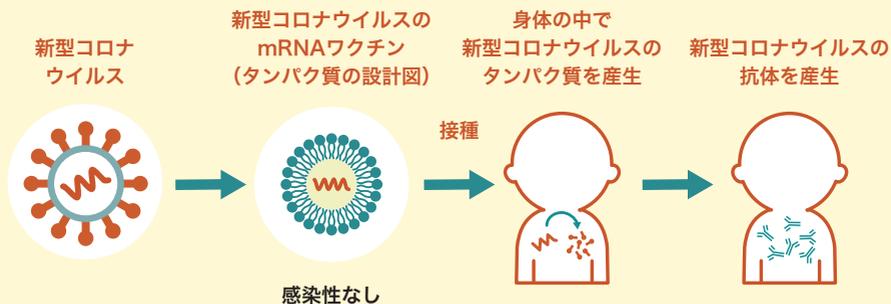


新型コロナワクチンには どのような種類があるの？

ワクチンは、病原体を弱くしたのものやその一部をあらかじめ接種することで、病気にかかりにくくする、又はかかっても軽い症状ですむようにする薬剤です

メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチン※

- 病原体に特徴的なタンパク質の設計図であるmRNAを用います。接種することで、その設計図を使って人体の細胞が病原体に特徴的なタンパク質を作り、免疫を獲得するワクチンです

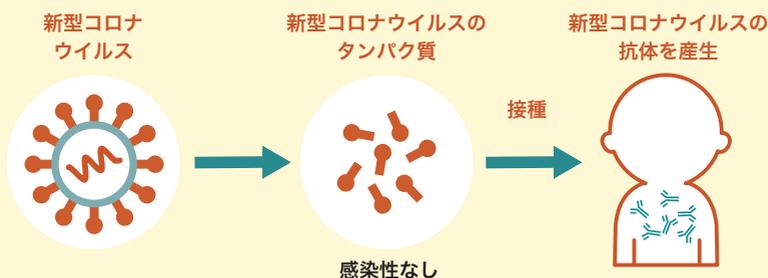


※レプリコンワクチンもmRNAワクチンのひとつです

2025年2月現在、日本で承認を受けている新型コロナワクチンは2つのタイプがあります。どちらのワクチンも生きた病原体は含まれていませんので、接種してもワクチン成分によって感染を起こしたり、病原体が身体の中で増えることはありません

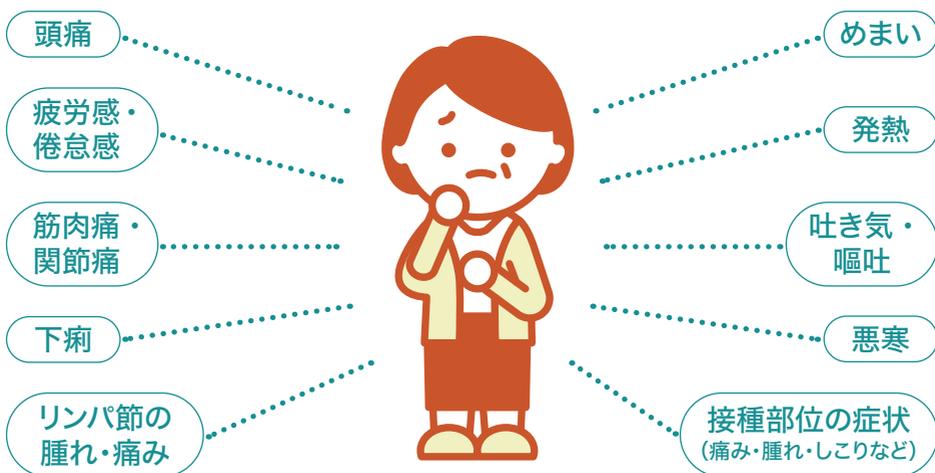
組換えタンパクワクチン

- 病原体に特徴的なタンパク質のみを培養細胞に作らせて製造します。それを接種することで免疫を獲得するワクチンです
- B型肝炎ワクチンなどと同じタイプのワクチンです



新型コロナウイルスワクチンの主な副反応

以下のような副反応が見られることがあります
また、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎
があらわれることがあります



厚生労働省：新型コロナウイルスワクチンQ&A [2024年11月15日閲覧]
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.htmlより引用改変

ワクチン接種直後に起こりうる副反応について

● ショック・アナフィラキシー

薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です

じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります⁴⁾。接種後にアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、医療機関では、医薬品などの準備をしていますが、医薬品やワクチンなどでアレルギーが出たことがある人や、喘息などのアレルギー疾患をもっている人は事前に主治医に相談しておきましょう

● 血管迷走神経反射

ワクチン接種時や血液検査の際に、緊張やストレスなどで血圧の低下、脈拍の減少などが起こり、それにより失神する場合があります⁴⁾。ワクチン接種前には、十分な睡眠をとり、接種後15～30分は背もたれのある椅子に座る、体調が優れない場合は体を横たえるなどの予防が重要です

4) 厚生労働省：新型コロナワクチンQ&A [2024年11月15日閲覧]
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.htmlより引用改変

新型コロナワクチンは 定期接種で受けられます

* 定期接種の対象者は以下の方です

✓ 65歳以上の方 ✓ 60～64歳で対象となる方*

※心臓、腎臓又は呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方



定期接種は毎年秋冬に1回行うことができます
また接種費用は自治体(市区町村)によって異なります
詳しくは住民票のある自治体にお問い合わせください

* 定期接種の対象者以外の方*や
定期接種のタイミング以外で
接種する場合には、
任意接種として受けることができます



※年齢によって接種できるワクチンが異なります

ワクチン接種について、 詳しくは医師・看護師にご相談ください

新型コロナウイルス感染症やワクチンについて
こちらのサイトからもご確認いただけます

武田薬品COVID-19特設サイト



[医療機関名]



武田薬品工業株式会社